

2023年度		2歳児		きりん組		年間指導計画		キッズプラス出雲園		園長	担当	
保育目標		○保育者や友達と安心できる環境の中で、情緒の安定を図る。○簡単な身の回りのことを自分でしようとする。○全身を使う遊びや指先を使う遊びを楽しむ。○興味のあることを模倣したり、経験したことを言葉や動作で表現しようとする。○遊びや活動を通じて、身近なものごとへの興味・関心を高める。										
年間区分		Ⅰ期(4月～5月)			Ⅱ期(6月～8月)			Ⅲ期(9月～12月)			Ⅳ期(1月～3月)	
発達の特徴		・自分の好きな遊びを見つけて、楽しむ。 ・生活の流れを知り、保育者と一緒に身の回りのことをやってみようとする。			・友達とやり取りをしながら、関わって遊ぶことを楽しむ。 ・してほしいことややりたいことを、言葉で伝えようとする。			・体を使った遊びを好んだり、友達とごっこ遊びを楽しむ。 ・着脱や排泄に興味をもち、意欲的に取り組む。			・保育者や友達と、簡単なルールのある遊びを楽しむ。 ・基本的な生活習慣が身に付き、身の回りの準備や片付けを意欲的に行う。	
ねらい		・保育者に見守られながら、安定した生活を送る。 ・身の回りの持ち物の始末を意欲的にする。			・水の冷たさや夏の暑さを感じ、夏の遊びを楽しむ。 ・友達との関わりを楽しみ、一緒に遊ぶ楽しさを知る。			・全身を使った遊びを楽しむ。 ・秋の自然物に触れ、興味・関心をもち、製作など表現活動を楽しむ。			・ごっこ遊びやルールのある遊びを通して、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ・基本的な生活習慣が身に付き、転園への期待をもって生活する。	
養護	生命	適切に援助しながら、簡単な身の回りのことをやろうとする意欲がもてるようにする。			夏の遊びを十分に楽しみながら体力がつくよう、遊びを工夫する。			基本的な生活習慣の獲得に意欲がもてるよう、援助する。			生活リズムを大切に、寒さに負けない体づくりをする。	
	情緒	不安や欲求を受け止め、安心して生活できるようにする。			気持ちや思いを受け止めながら、安心して自我を表現できるようにする。			集団生活に必要なまじりを伝え、順番を待ったり、玩具の貸し借りができるよう仲立ちをする。			自分のものと他人のもの、園のものがあることを伝え、少しずつ理解できるようにする。	
教育	健康	登園時間を守り、生活リズムを整え、安定した生活を送る。			水分補給や休息を十分に取り、元気に過ごす。			・戸外から帰った後や食事前に、手洗いうがいを積極的に行う。 ・トイレで排泄する気持ち良さを知る。			鼻水が出たら知らせたり、自分でかもうとする。	
	人間関係	友達や保育者と安定した関わりをもち、言葉を増やす。			保育者を仲立ちとしながら、友達と遊ぶ楽しさを感じる。			友達とのトラブルを通して、相手の気持ちに気づいたり、理解しようとしたりする。			自分の思いを言葉で伝えたり、友達の話に耳を傾けたりしながら、気の合う友達と愛着関係を深める。	
	環境	新しいロッカーや生活の流れを覚え、持ち物の管理の仕方を知る。			水遊びや泥んこ遊びなど、夏ならではの遊びを楽しむ。			秋の自然物に触れ、興味・関心をもち、遊びや生活に取り入れようとする。			自然などの身近な事象に関心を持ち、遊びや生活に取り入れようとする。	
	言葉	友達や保育者の名前を覚え、生活に必要な言葉を習得する。			遊びや生活の中で、友達や保育者と言葉のやり取りを楽しむ。			したいことを言葉で表現したり、わからないことを尋ねたりする。			挨拶ができ、簡単な問いに答えようとする。	
	表現	歌やリズム遊びを通して、体を使って表現することを楽しむ。			手遊びや音楽遊びなど、簡単なリズムを楽しむ。			・はさみやのりに親しむ。 ・友達と一緒に歌ったり体を動かすことを楽しむ。			・手指を使った製作を楽しむ。 ・音楽に合わせて歌い、振りを真似して踊ることを楽しむ。	
食育		こぼしながらも、スプーンやフォークを使って自分で食べる。			保育者に声をかけてもらいながら、最後まで自分で食べる。			苦手な物も、励まされて食べてみようとする。			スプーンやフォークを正しく使い、箸にも挑戦する。	
健康・安全		散歩を通して、交通ルールがあることを知らせる。			安全に水遊びを楽しめるよう、職員間で連携を取ったり、子供の健康チェックを入念に行う。			散歩を通して、交通ルールを守るよう促す。			換気や消毒、加湿等をこまめに行い、感染症に留意する。	
環境構成		・子どもの状態や動線に合わせた環境を整える。 ・玩具は、一人一人が満足して遊べる数を用意する。			エアコンを利用したり、適宜水分補給や休息を行い、気持ちよく快適に過ごせるようにする。			散歩や製作などで、様々な秋の自然物に触れる機会を設け、自然に親しめるようにする。			遊びや製作などにじっくり取り組めるような環境を用意する。	
援助・配慮事項		・園庭や公園では、遊具に保育者がつき、安全な遊び方を指導する。 ・子供の気持ちを受け止め、安定した生活が送れるようにする。			汗をかく時期なので、こまめに着替えを行い、清潔を保つようにする。			自分でやろうとする気持ちを認め、できないところを援助し、自分で出来た達成感が味わえるようにする。			一人一人の生活面や発達面を再確認し、卒園に向けて、戸惑いや不安がないようにする。	
家庭・地域との連携		家での様子と家庭での様子を伝え合い、保護者との信頼関係を築く。			水遊びを通じて感染症が流行しないよう、保護者とこまめに連絡を取り合い、子供の体調を把握する。			着脱しやすい衣服や使いやすい持ち物を持って来てもらい、意欲的に身の回りのことを自分でできるようにしていく。			子供の成長を共に喜び合い、卒園に向けての期待や自信に繋げる。	
行事		避難訓練 身体測定 誕生会 リトミック 英語であそぼう 弁当日 園外保育 小児科検診 体操教室			避難訓練 身体測定 誕生会 リトミック 英語であそぼう 歯科検診 園外保育 体操教室			避難訓練 身体測定 誕生会 リトミック 英語であそぼう クリスマス会 弁当日 不審者対応訓練 園外保育 歯科健診 体操教室			避難訓練 身体測定 誕生会 リトミック 英語であそぼう 節分会 ひな祭り会 弁当日 園外保育 体操教室	
保育士による自己評価												
評価 課題												
				園長	担当					園長	担当	
				園長	担当					園長	担当	
				園長	担当					園長	担当	